

こんにちは

酒井まさえです



2024年8月4日 No.174 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

物価高騰対策の強化及び、くらしと命を守るために 岸本区長に緊急申し入れ実施



岸本区長に申し入れ文書を手渡す区議団



申し入れ全文は
コチラから

物価高騰対策の強化、及びくらしと命を守るための緊急申し入れ（一部抜粋）

1. 家賃補助制度について、低所得のひとり親世帯などへ早期に実施すること。
2. 低所得世帯への高校入学支援金や、ひとり親世帯への転居費用助成、生活に様々な困難を抱える子育て世帯や若年者層への支援を実施すること。
3. 長期休みの学童クラブの昼食について、弁当の配達事業等を実施すること。
4. 修学旅行費用やフレンドシップスクール費用、卒業アルバム、移動教室、鑑賞教室などへの補助を実施すること。
5. プレミアム商品券事業、キャッシュレス決済還元事業、レシート商品券事業などについて、商店街連合会等と協議を行い実施すること。
6. 燃料費の高騰により、民営火葬場利用料金が値上げされている。低所得世帯等に対し、火葬場・葬祭場利用への助成制度を創設すること。
7. 杉並区パートナーシップ制度を利用する同性カップルの住民票続柄について、異性間の事実婚と同様に「夫（未届）」「妻（未届）」との表記を認めること。
8. PFAS汚染について、2022年に行われた東京都・水道局の調査では杉並浄水場から指針値の4倍以上となる210ng/LのPFASが検出されており、区内の汚染状況を把握するために区独自のPFAS調査を実施すること。
9. 2022年に廃止となった国立印刷局高円寺宿舎の跡地について、区民サービス向上に資するよう有効活用を図ること。

日本共産党杉並区議団は7月19日に、岸本聡子区長に対し「物価高騰対策の強化、及びくらしと命を守るための緊急申し入れ」を手渡しました。

物価高騰が区民生活を直撃

くらし・命を守る対策を！

長引く物価高騰により区民生活に深刻な影響が出ています。総務省が発表した6月の東京都部消費者物価指数では、変動の大きい生鮮食品を除いた総合指数が107.0%と、前年同月比2.1%の上昇で、34カ月連続の負担増となっています。特に、電気・ガス代の値上げ抑制の政府補

助が半減したことが影響しており、電気代は10.8%の上昇です。
厚生労働省の毎月勤労統計5月度では、従業員5人以上の事業者で物価変動を反映させた実質賃金は前年同月比で1.4%減少しており、26カ月連続で過去最長を更新しています。
こうした状況から区民生活を守るために物価高騰対策の強化の実施と、様々な社会問題から区民生活を守る対策として、11項目の緊急対策を早期に実施することを要望しました。

杉並区の公園利用のルールが変わりました

■杉並区の新しい公園利用のルールの試行について

分類	これまでのルール	新しい試行ルール
タバコの喫煙	「児童交通公園」以外の公園は 喫煙可能	分煙施設以外での 喫煙は全面的に不可 (分煙施設のある公園/蚕糸の森公園、馬橋公園、井草森公園、塚山公園、桃井原っぱ公園)を除く
犬の連れ込み	管理事務所のある公園以外は 不可	管理事務所のある公園および 桃園川緑道、馬橋児童遊園 以外は 不可 (犬の連れ込みが可能な公園等/蚕糸の森公園、馬橋公園、井草森公園、塚山公園、桃井原っぱ公園、下高井戸おおぞら公園、柏の宮公園、桃園川緑道、馬橋児童遊園、区立ドッグラン広場)
ボール等の利用	球戯場でのボール利用、 幼児 によるやわらかいボール利用は 可	以下の場合 可 ●球戯場でのボール利用、 小学校低学年までの 柔らかいボール利用 ● 広場で一人で 行う練習 ● 安全確保が可能で、大きな音がせず、長時間占有しないスポーツ玩具
自転車の乗り入れ	不可	保護者が付き添って乗るための練習は可
花火の利用	青少年育成目的で 任意の団体 が 占用申請 すれば、夏休み期間中は 可 ※一部の公園を除く	以下の場合 可 ●夏季(7/20~8/31 18時~20時) ● 手持ち花火 ● 小人数(大人を含む5人程度) は 自由 ● 団体は届出(30人まで)

※区HPより作成。詳細は区HP等でご確認ください。

7月1日から、杉並区の公園利用のルールが変更になりました。
喫煙は、喫煙所を除き**全面禁煙**となり、ボール利用、自転車の練習、花火などが条件付きでできるようになりました。

(花火は、梅里中央公園、成宗さくら公園、成田かっぱ公園、大宮児童公園、永福中央公園、和泉2丁目公園、塚山公園で可)
新ルールに関するアンケートも実施中です。(左下のQRコードから回答できます)



健康の話 夏を元気に

過剰な暑さ

今年の夏も、地球温暖化の影響で「沸騰」している状態です。連日30℃を超えています。

夏はなぜ疲れるのでしょうか。

- ①暑さのため体温調節にエネルギーを使うから。
- ②冷房の効いている部屋と外との温度差による。
- ③紫外線を多く浴びると、自己防御のために体内で活性酸素が発生し、疲れやすくなります。

それでは、夏を元気に過ごすにはどうすればいいかあげてみます。

- ①**疲れを残さない質の良い睡眠をとる。**熱帯夜の時は、冷房と扇風機をうまく使い冷やしすぎないように。
- ②**運動で汗をかく習慣を。**夏場に適度な運動で汗をかくことは、暑さへの耐性が付き、暑さと冷房で狂いがちな体温調節機能が改善するので効果的です。早朝や夕食後など涼しい時にウォーキングがおすすめです。
- ③**必要な栄養補給で体力をつける。**食欲増進のための工夫が大事です。しょうがや大葉などの香味野菜を使ったり、カレーなど香料を利かせた料理は食欲を増進します。冷たい飲み物を多くとると、胃腸を弱めてしまうことがあるので注意しましょう。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

